



10月の園だより

令和6年10月1日
目黒区立田道保育園長

園庭に子どもたちの元気な声が響き、外で遊ぶことが心地よいと感じる季節になってきました。

4歳児クラスの担任と子どもたちの話をしていると素敵なエピソードを聞くことができました。クラスでトウモロコシの皮むきをしていると、終わった頃に遅れて登園してきた子がいました。トウモロコシの皮むきがやりたかったようで、お母さんに「皮むきしたかったのに、なんで早く来なかったの」と泣いて訴えていたようです。お母さんも一生懸命声をかけてなだめているのですが、お母さんの声は入っていかなかったようです。困り果てていたところにクラス担任が「トウモロコシと一緒に調理室に届けに行かない」と声をかけると急に涙を止め、「きりかえた!」と大きく声を上げ、気持ちを切り替えたようです。その後、笑顔になってクラス担任と一緒にトウモロコシを調理室に届けに行きました。クラス担任の気持ちを受け止めた言葉がけに耳を傾けられるようになったのは、この夏の成長が大きいと感じます。プールでできなかった水に顔を付けることができ、できるようになるとアヒル歩きをしながらも顔を付けることができるようになりました。夏の遊びで培った自信が少しずつ開花して、保育園の生活の様々な場面で力を発揮している姿に嬉しさを感じます。

子どもたちは運動会に向けて運動遊びに友達と一緒に楽しみながら取り組んでいます。運動会当日の子どもたちはこの夏で培った自信が成長につながり、いつも以上の力を発揮することと思います。楽しみにしてください。

今月の予定

運動会 幼児おたのしみ会 芋掘り遠足 焼き芋会

※中旬 身体計測、避難訓練

秋の健康診断（日程は後日お知らせします）



♪お散歩に行こう♪

秋を感じる季節になってきました。子どもたちは園庭遊びだけではなく、近隣の公園にも散歩に行っていて遊んでいます。芝生の丘になっているクリーン公園へは、0、1歳もサークル車に乗って行ったり、保育士と手繋ぎで散歩に出かけています。クリーン公園には大きなイチョウの木があり、これからの季節は黄色く色がついたイチョウの葉が落ち始めます。すると辺り一面黄色の絨毯ができ、その上を歩くとかさかさ音が鳴ったり、葉を舞うようにして遊んだり、散歩先での遊びも楽しくなってきます。また、区民センター広場ではどんぐりの木があり、色々な大きさや形のどんぐりを見つけて集めたり、探したりと新しい発見も楽しめます。その他にも広場で追いかけてっこなどたくさん走って遊べる田道広場、探検や探索ができる中目黒公園に行っていて遊んでいます。これからの時期ならではの遊びを散歩先でも楽しんでいきますので、散歩に行った際には子どもたちからお話を聞いてみてください。



中目黒公園



クリーン公園



田道広場



～お部屋で何して遊んでるかな～

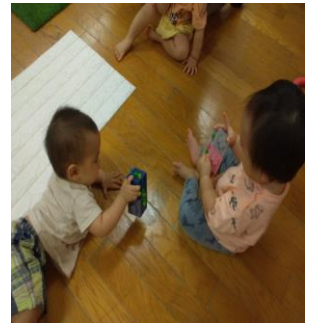


子どもたちの室内遊びの様子をご紹介します。

「おともだちと」

めだか組（0歳児）

月齢の高い子どもたちは少しずつ好きな遊びが出てきて、イメージをして遊ぶ姿が見られるようになってきました。ある子が保育士と一緒にブロックをつなげて車に見立てて「ぶっぶー」と床や棚の上を走らせていると、少し離れたところで見ている子がそばに来て「ん！」と車を指さしています。「車欲しいの？」と聞くと頷いたのでブロックを持ってきて車を作ると嬉しそうに笑い、先に遊んでいた子のそばで「びっびー」と走らせ始めました。先に遊んでいた子もそれに気が付いてお互いに顔を見ながら笑い合っていて、2人並んで遊ぶ姿はとても微笑ましいです。2人の楽しそうに遊ぶ様子を見て、まわりの子も興味を示す姿も見られます。友達の遊んでいることが気になってやってみたい気持ちも育っています。



「お風呂気持ちいい」

あひる組（1歳児）

子どもたちが「先生、お風呂に入ろう」と誘ってくれたので、牛乳パック積み木で囲いを作り、チェーンリングをお湯に見立てて入れました。「ザブーン」と言ってお風呂に入っていると、その様子を見ていた友達が「ぼくもやりたい」と加わり、一緒にお風呂タイムが始まりました。布のハンカチで体をゴシゴシ洗ったり、「ジャバー」と水を掛け合ったり、「気持ちいいね」と顔を見合わせて笑顔でお風呂時間を楽しんでいました。お風呂から上がると「牛乳飲むの」と白色のペットボトルを持ってきて「かんぱーい」と牛乳を飲んでいました。少しずつ友達に興味が出てきて、友達の遊びに目を向け、「同じ遊びをしたい」という気持ちが出てきています。保育士も一緒に遊びながら“一緒だね”、“楽しいね”という気持ちを増やしていきます。



「2人の思い」

らっこ組（2歳児）

チェーンリングを器に盛り、レンゲで混ぜて料理をしていた子に何度も指を差しながら「かして」とお願いしている子がいました。「つかってるからダメ」と断られると泣き出しましたが、保育士が「使いたかったの？」と気持ちを聞いてみると「これはつかってないからいいよ」と料理していた子がチェーンリングを少し分けてくれました。すると「いらない」と首を振り、レンゲを指差しています。チェーンリングではなく、レンゲが欲しかったことが分かりました。保育士と一緒にレンゲを探し、手に入ると安心したようにコップにレンゲを入れ、アイス在完成させて笑顔を見せてくれました。少しずつ自分の気持ちを言葉で伝えられるようになってきましたが、思いの違いがあるときに保育士が仲立ちすることでイメージを共有して遊べるように関わっています。

